

高齢者福祉分野での心理職のニーズについて アンケート結果

この度はお忙しい中、アンケートにご協力いただき本当にありがとうございました。

アンケート結果をご報告いたします。たくさんの貴重なご意見を頂き、大変うれしく思います。

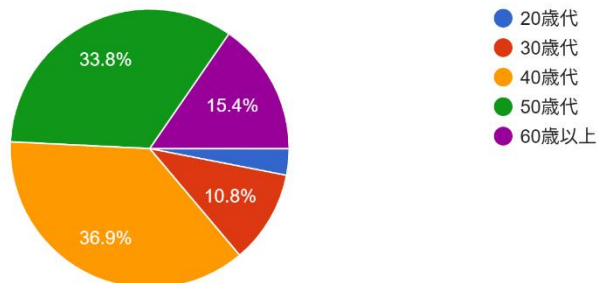
アンケート結果について、富山県公認心理師協会高齢者福祉委員会と共有し、高齢者福祉分野において心理職ができることを考え、少しずつ皆様のお力になれるよう尽力したいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

- ・アンケート期間 令和7年3月～4月
- ・対象者 射水市内の高齢者福祉分野に関わる事業所等に勤務されている方
- ・回答方式 google フォームにて回答
- ・回答数 65名

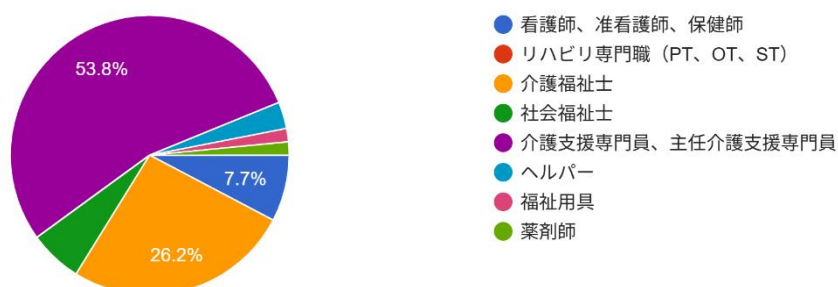
(1) 年齢

65件の回答



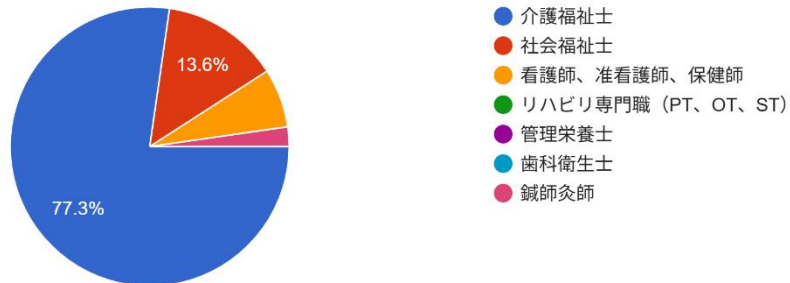
(2) 職種

65件の回答



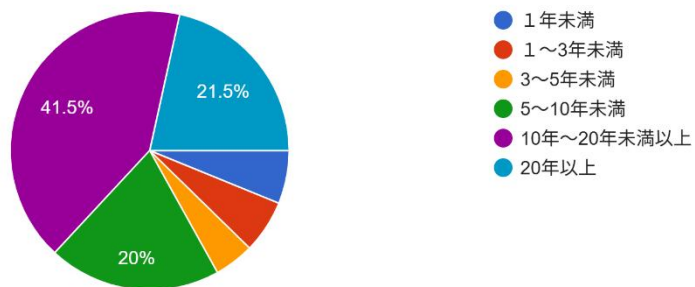
(3) 基礎資格【介護支援専門員、主任介護支援専門員の方のみ】

44 件の回答



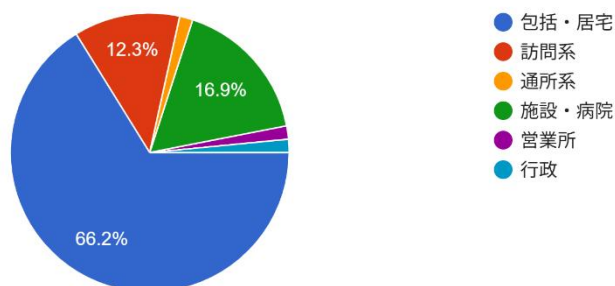
(4) 実務経験年数をご回答ください。

65 件の回答



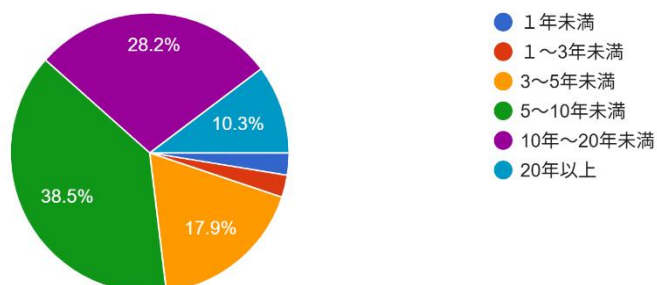
(5) 所属事業所

65 件の回答



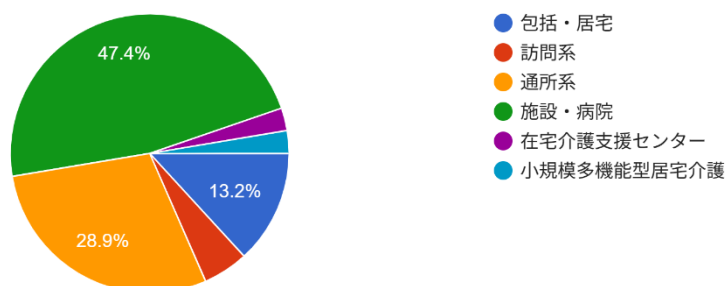
(6)【介護支援専門員、主任介護支援専門員の方のみ】ケアマネジャー業務に就く前の実務経験をご回答ください。

39 件の回答



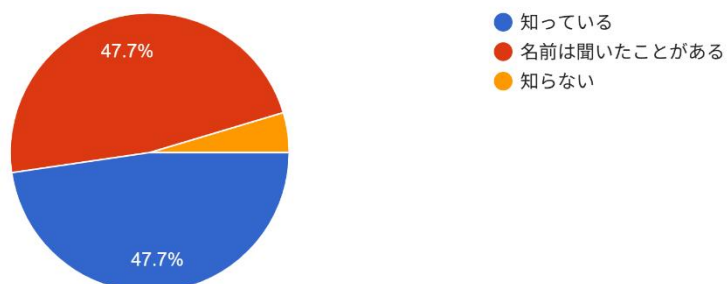
(7)【介護支援専門員、主任介護支援専門員の方のみ】ケアマネジャー業務に就く前の所属事業所をご回答ください。

38 件の回答



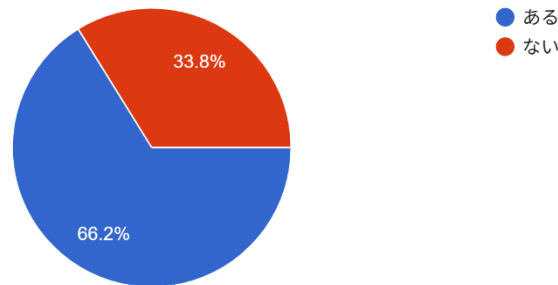
(8) 心理職（公認心理師、臨床心理士）をご存じですか？

65 件の回答



(9)福祉現場で、心理職がいたらいいなと思ったことはありますか？

65 件の回答



(10) (9) で「ある」と答えた方へ どんな時にそう思いましたか？

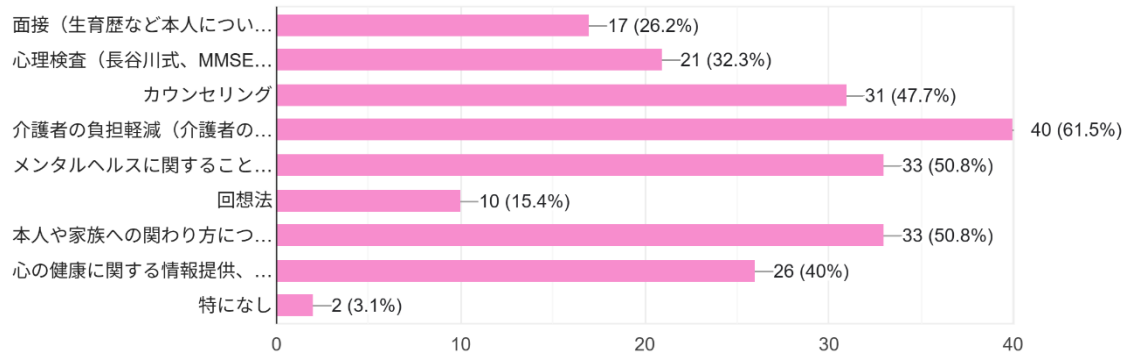
36 件の回答

- ・精神科疾患や発達障害の方の対応時等。
- ・常日頃から心のケアが必要だと感じているから
- ・気軽に相談にのってくれる職員がいたらいいなと思う事があるので。
- ・利用者さんや家族さんでいえば精神的に病んでいる方を担当した時
- ・ケアマネ自身でいえばケアマネ業務は仕事量も多くメンタル面で負担に感じた時
- ・自分の心の健康相談
- ・関わりが難しい方への対応に迷うとき
- ・ストレスの多い職場だから
- ・認知症の方へのサポート
- ・実際にどのような仕事をしているのか知らなかったが、下記の質問で本人や家族への関わり方への助言や心の健康に関する情報提供とあったので、身近に心理職の方がいてくれたら助かるだろうなと思った。
- ・本人の状態が不安定の場合
- ・悩みやストレスがある時
- ・同僚がストレスから体調を崩した時、利用者への対応に行き詰まった時
- ・起きている事象に対して、話が堂々巡りになっている時など、心や感情について、見方と
いうか、見解というか、心の専門家として新たな切り口があればなあ…と思うことがあります。
- ・今後、自分の心身が疲弊した時相談できる人がいると安心すると思ったから

- ・職員の人間関係について
- ・ターミナルの方や家族の思いに寄り添ってほしい時に話を聞いたりしてほしい
- ・認知症の心理 職員のメンタルヘルス
- ・精神的に疲れておられる方もおられるので、そんな方のお話を聞いてあげれば心のケアになるかと思います。
- ・時間と心にゆとりをもてるように★
- ・鬱病がある方への対応、言葉掛けについて。
- ・人間関係の相談したい事がある時。
- ・精神疾患を持っておられる本人や家族への相談支援の時に思います。
- ・精神疾患や発達障害のある方と関わる時
- ・精神的負担が大きく退職者が多いため、話を聞いてもらえる専門家がいると、個人としても会社としても対策方法が見つかる可能性に期待したい
- ・職員や利用者家族にたいしての苦情や接し方、考え方を相談できたらいいな—と思います。
- ・特に最近、カスハラ、モラハラなども多くケアマネ自身を守る必要がある。カウンセリングが必要だと思う。
- ・利用者、家族も多種多様化してきている。
- ・心理検査をしてもらうことで、その方の特性が分かり、対応方法のわかりやすさに繋がるかも、とおもった時。
- ・相談を受けてる時に、こころの問題を抱える方が増えており、福祉支援制度だけでは限界を感じた時にそう思います。
- ・相談業務だから
- ・要望の多い家族の対応等
- ・上司や家族、同僚にも話し辛い相談がある時に。
- ・発達障害やひきこもりなどある方への対応時
- ・本人、家族支援で壁にぶち当たった時に関わり方について、視点や方法をかえる必要がある時。
- ・職員の倫理観、モラルの醸成が必要だと感じた事がある。
- ・利用者に対しても本当の事や、悩みを聞いてくれる人がいたら良いと思います。
- ・令和の時代にも関わらず、昭和の考え方を押し付けられる等の世代間格差が、ストレスの原因として考えられる為
- ・忙しくて心理的な話をゆっくり聞いてあげられない時。
- ・関わりにくい方の面接方法について助言者してもらったり、声掛けの方法について助言してもらいたい。

(11)心理職に関わってほしいことはどのようなことですか？（複数回答）

65 件の回答



↑

選択肢（上から順に）

- ・面接（生育歴など本人について詳細なアセスメントを行う）
- ・心理検査（長谷川式、MMSE、発達検査など）
- ・カウンセリング
- ・介護者の負担軽減（介護者の話を聴く）
- ・メンタルヘルスに関すること（自分たちの心の健康について相談に乗って欲しい）
- ・回想法
- ・本人や家族への関わり方についての助言
- ・心の健康に関する情報提供、研修会の開催
- ・特になし

(12) その他、コメントがございましたらご自由にお書きください。

3 件の回答

- ・スタッフであれ介護家族であれ、モヤモヤイライラが極まって自身の状況を客観視できなくなっている方に心理師さんが、道標を示してくださればいいなと思います。
- ・例えばメンタルヘルス的な概論や、こういう時はこう切り返してみよう的な How to 対応論は、書籍やインターネット等でも、あらゆる方法で情報収集ができますが。。。実践場面において、対人、対リアルタイムで、身近に専門家として相談できる方がいるのは、心強いかなと思います。ただ、どこまで介入されるのか、できるのか。一度、公認心理師の仕事とは何ぞや？的な話を聞いてみたいなとも思います。
- ・心理学の専門的な知識と技術に基づくカウンセリングやアドバイスについて研修会等にて学ぶ機会があれば良いと思います。